

キッズ・モニター + アンケート

第1回テーマ

「ヤングケアラーについて」

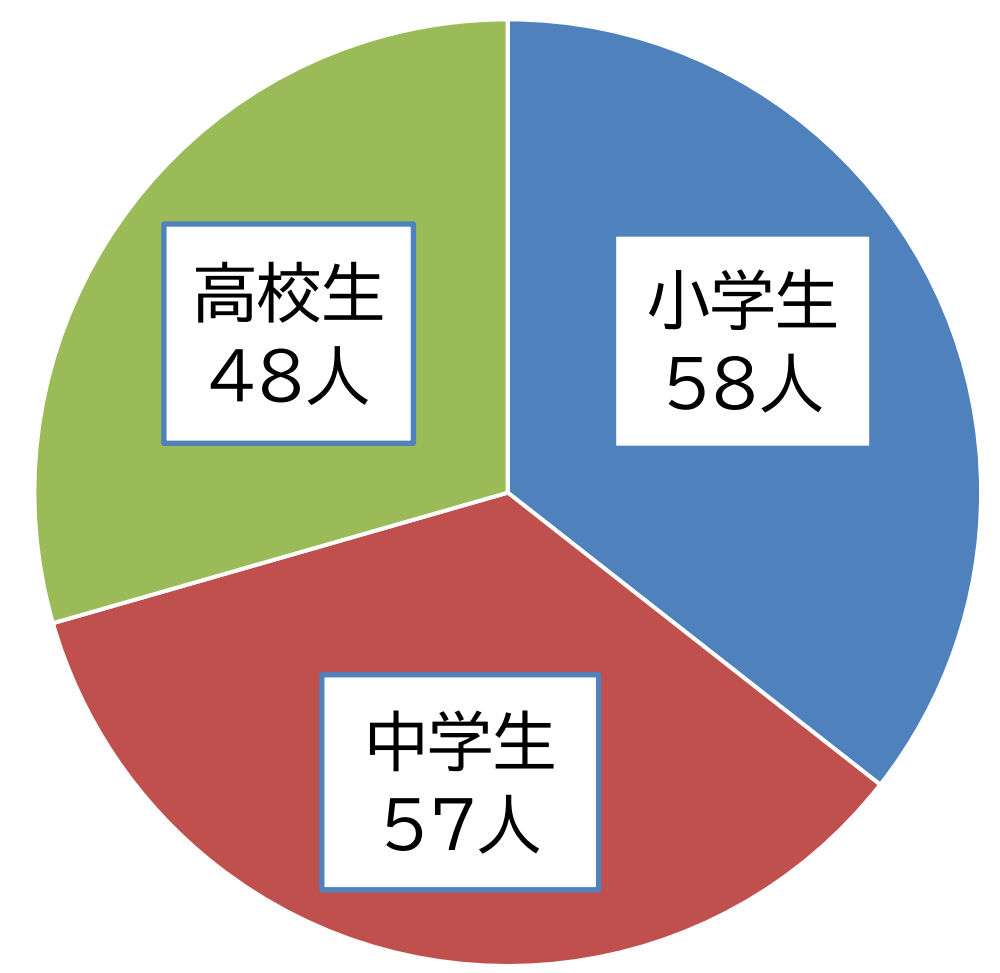


1. 実施期間	令和7年7月22日（火）～令和7年8月4日（月）
2. 回答者数	163人
3. 回答率	28.4%（163人 / 574人）
4. 実施方法	インターネットによるモニター調査（ちょうさ）
5. 担当課	家庭福祉・施設整備課 （かていふくし・しせつせいびか）

みなさんに聴いたこと

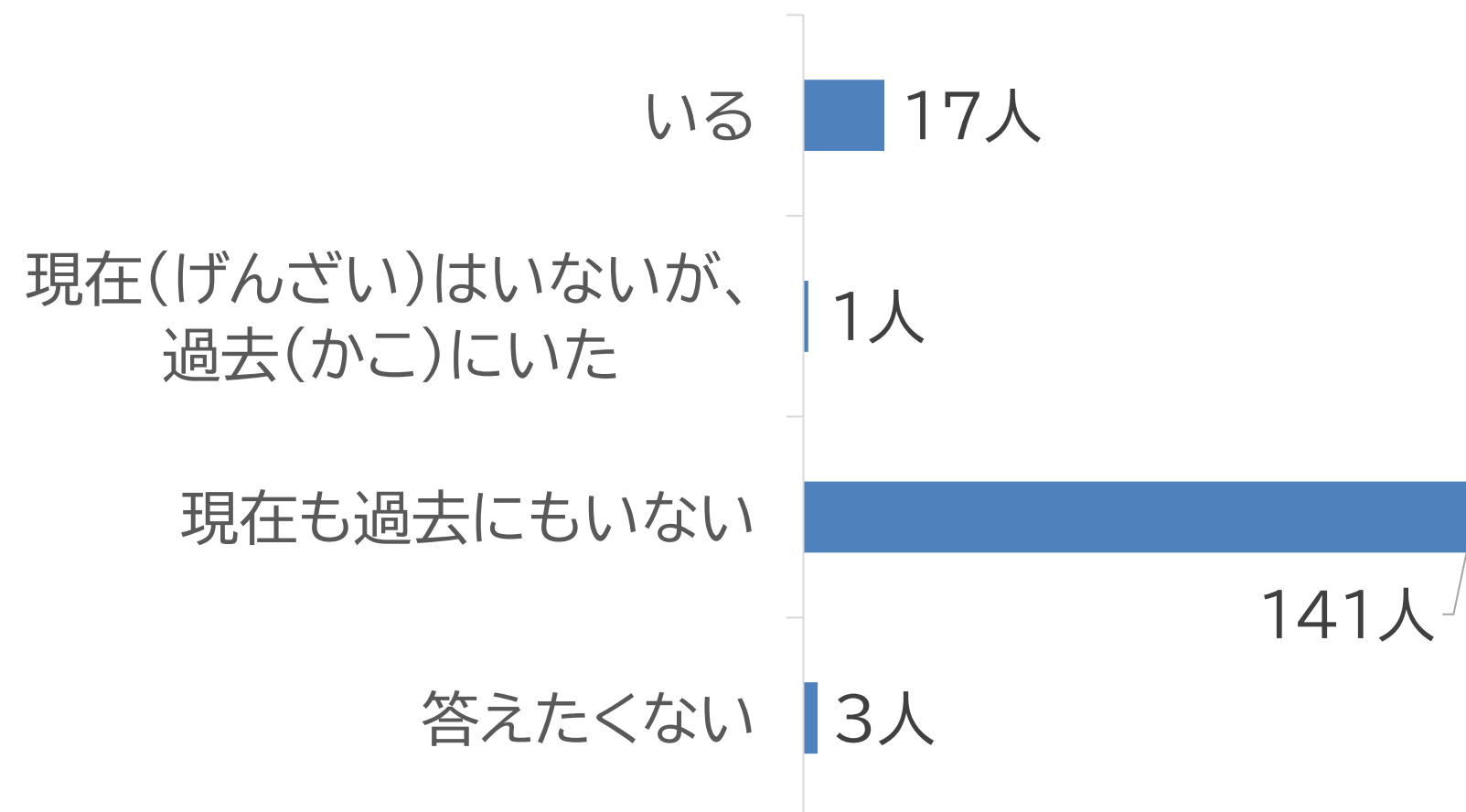
1. 今、あなたがお世話をしている人はいますか？
2. 悩んだり、困っていることはありますか？
3. 悩みや困りごとについて話を聞いてくれたり、相談にのってくれる人はいますか？
4. おうちの人以外に、相談できる大人はいますか？
5. あなたが「相談しやすい」と思う条件は？
6. 「ヤングケアラー」という言葉、知ってた？
7. 「ヤングケアラー」という言葉、どこで聞いた？
8. 「ヤングケアラー」と「子どもの権利」について
9. 「ヤングケアラー」への理解を深めるために効果があると思う活動は？

回答していただいたみなさんの年代



回答していただいたみなさん、ありがとうございました！

1. 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか？



担当課より

家族の中にお世話をしている人がいるかについて、「いる」と答えた方は 17人でした。

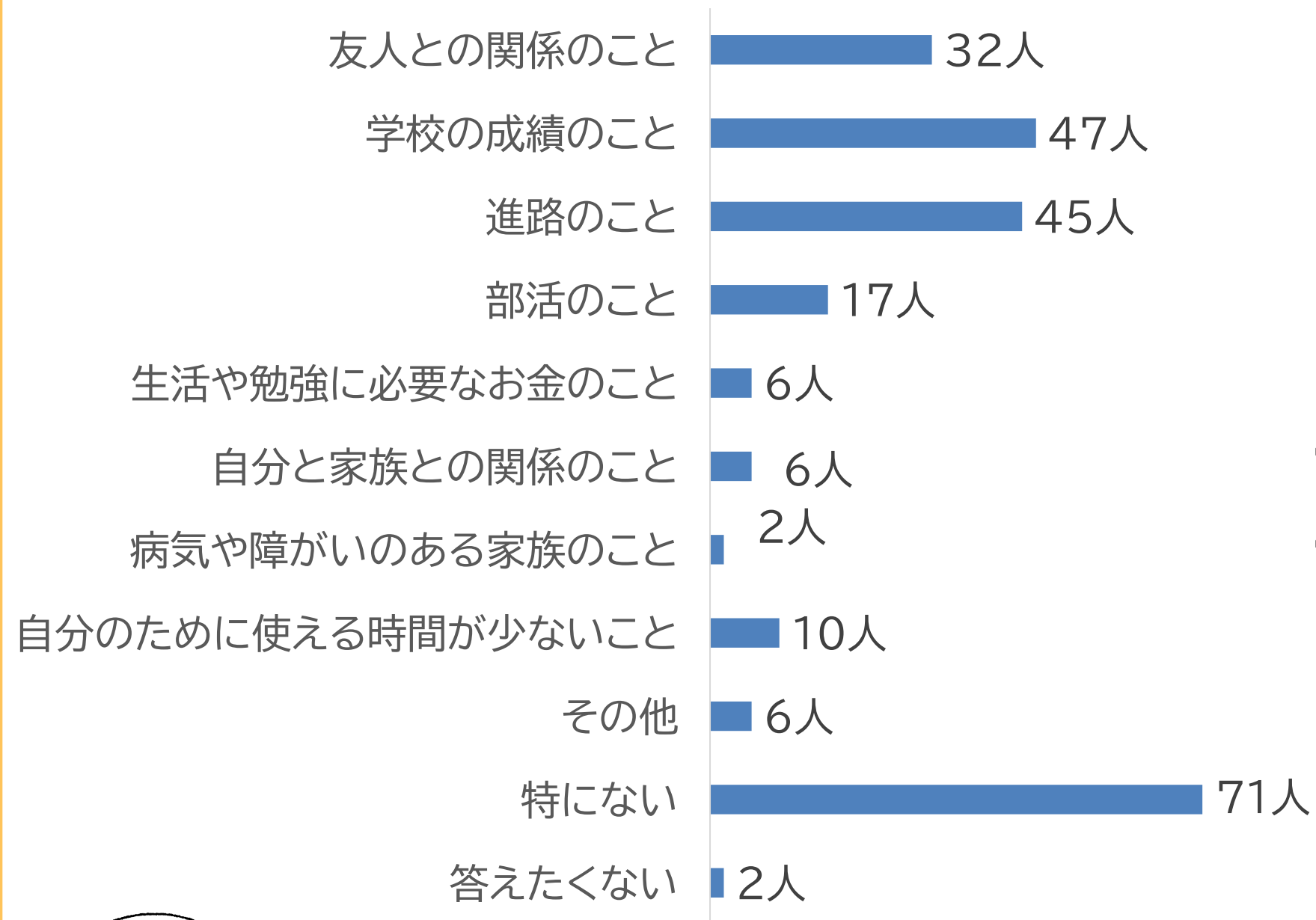
一番多かったのは、「現在も過去にもいない」という回答ですが、何らかの理由で「答えたくない」という人もいます。

家族を手伝い、お世話することは悪いことではありません。ただ、自分の時間が持てなかったり、やりたいことができなくなるなどして、気づかないうちに負担を抱えてしまっている可能性もあります。

そういったことに気づくきっかけを作ったり、周りの大人が見守り、気づくことができるように取り組んでいきたいと思います。



2. 現在悩んだり、困っていることはありますか？



その他の意見

- ・進路、将来のこと
- ・卒業後の進路 ・学校に行きたくないこと
- ・入院しているので、退院したらどうなるのかが心配
- ・自分の病気のこと ・自分の病気について

担当課より

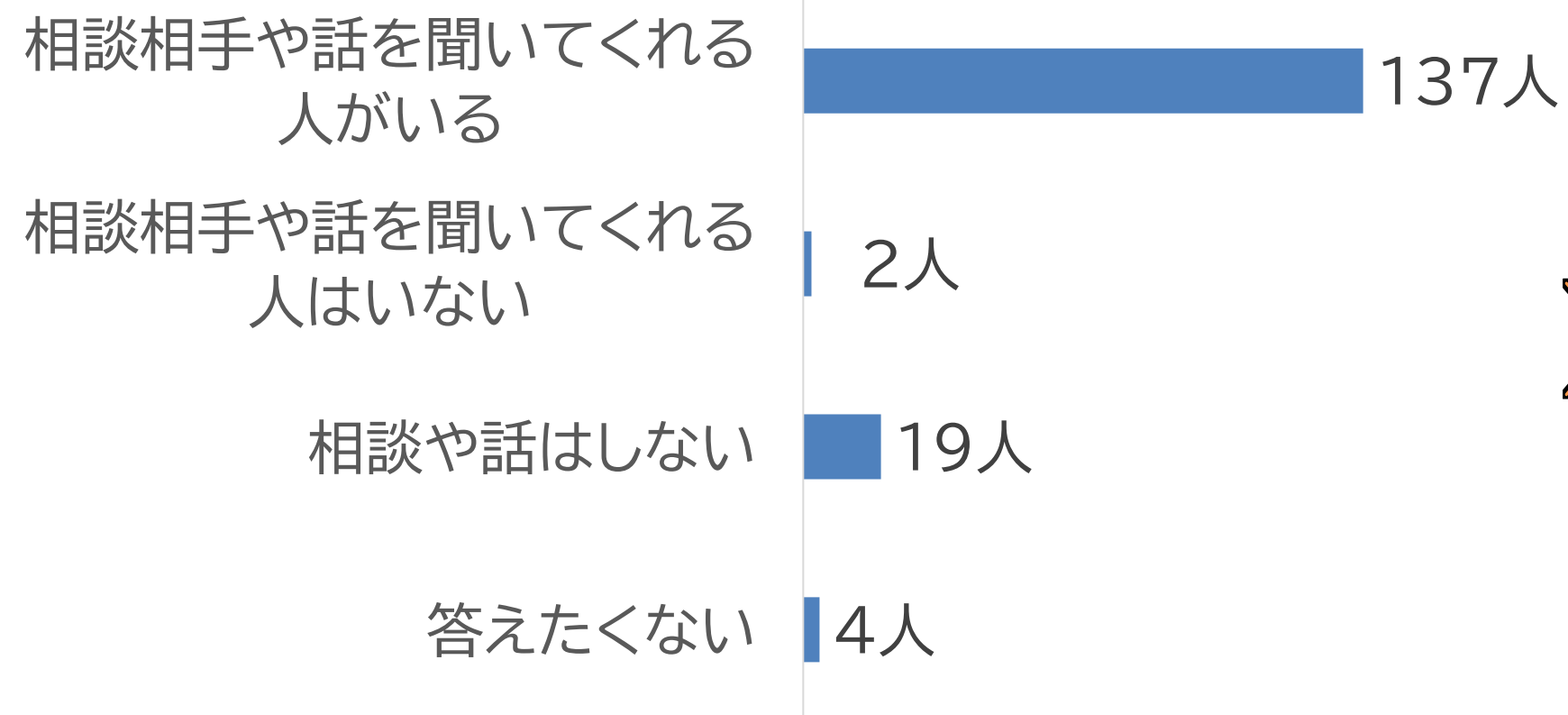
現在悩んだり、困っていることについて、「学校の成績のこと」「進路のこと」「友人との関係のこと」などが多く、勉強や友人関係での悩みが多いことが分かります。

一方、家庭内のことで、「病気や障がいのある家族のこと」「自分のために使える時間が少ない」と答えた子もいます。

いろいろな悩みごとや困りごとについて、みなさんが相談しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思います。



3. 悩みや困りごとについて話を聞いてくれたり、相談にのってくれる人はいますか？



担当課より

相談相手や話を聞いてくれる人について、「いる」と答えた人が多く、周りに信頼できる話し相手がいる人が多いことが分かります。

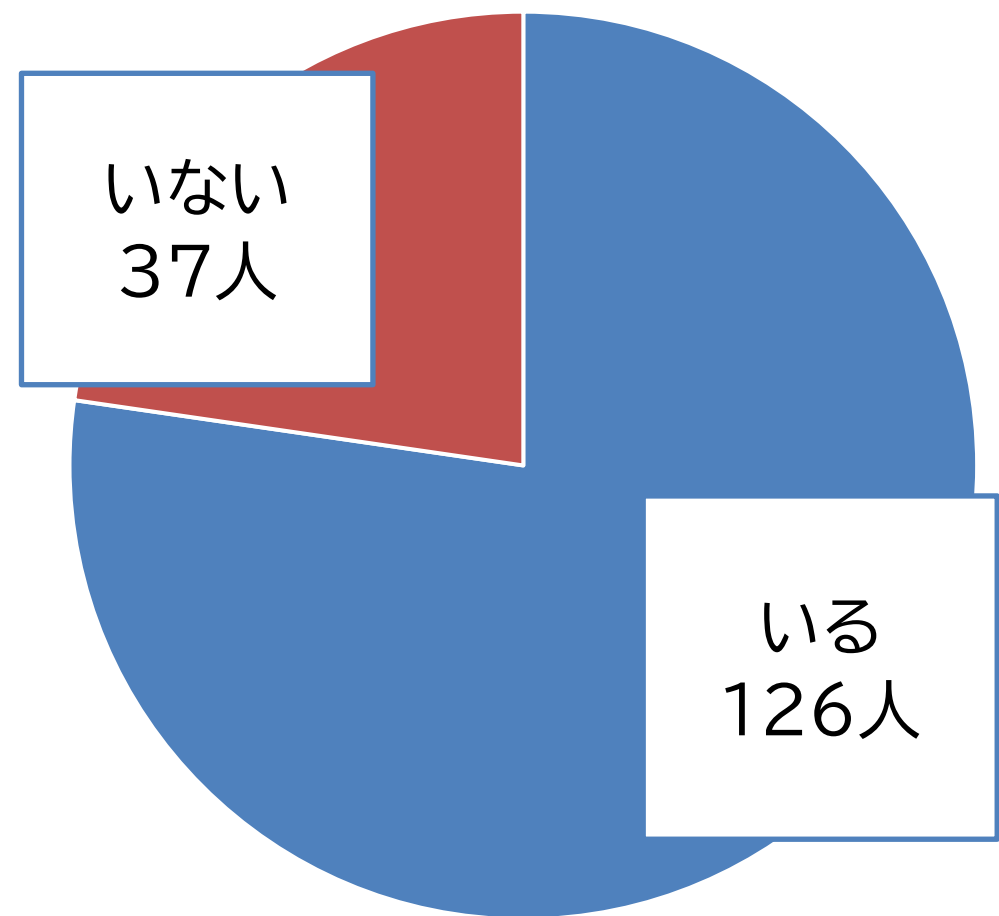
一方で、相談相手や話を聞いてくれる人は「いない」と答えた人もいたり、「相談や話はしない」という人もいたりすることも分かりました。

悩みや困りごとについて誰かに相談したいと思ったときに、普段近くにいる人に限らず、気持ちを話せるような相談窓口(相談先)があることと、

みなさんに分かりやすいようにお知らせができるような取り組みが必要だと考えます。



4. 困ったことがあったとき、お家の人以外に 相談できる大人はいますか？



担当課より

お家の人以外に相談できる大人が「いる」と答えた人が多く、日ごろから頼りになる大人が近くにいて、相談ができる環境にある人が多いことが分かりました。

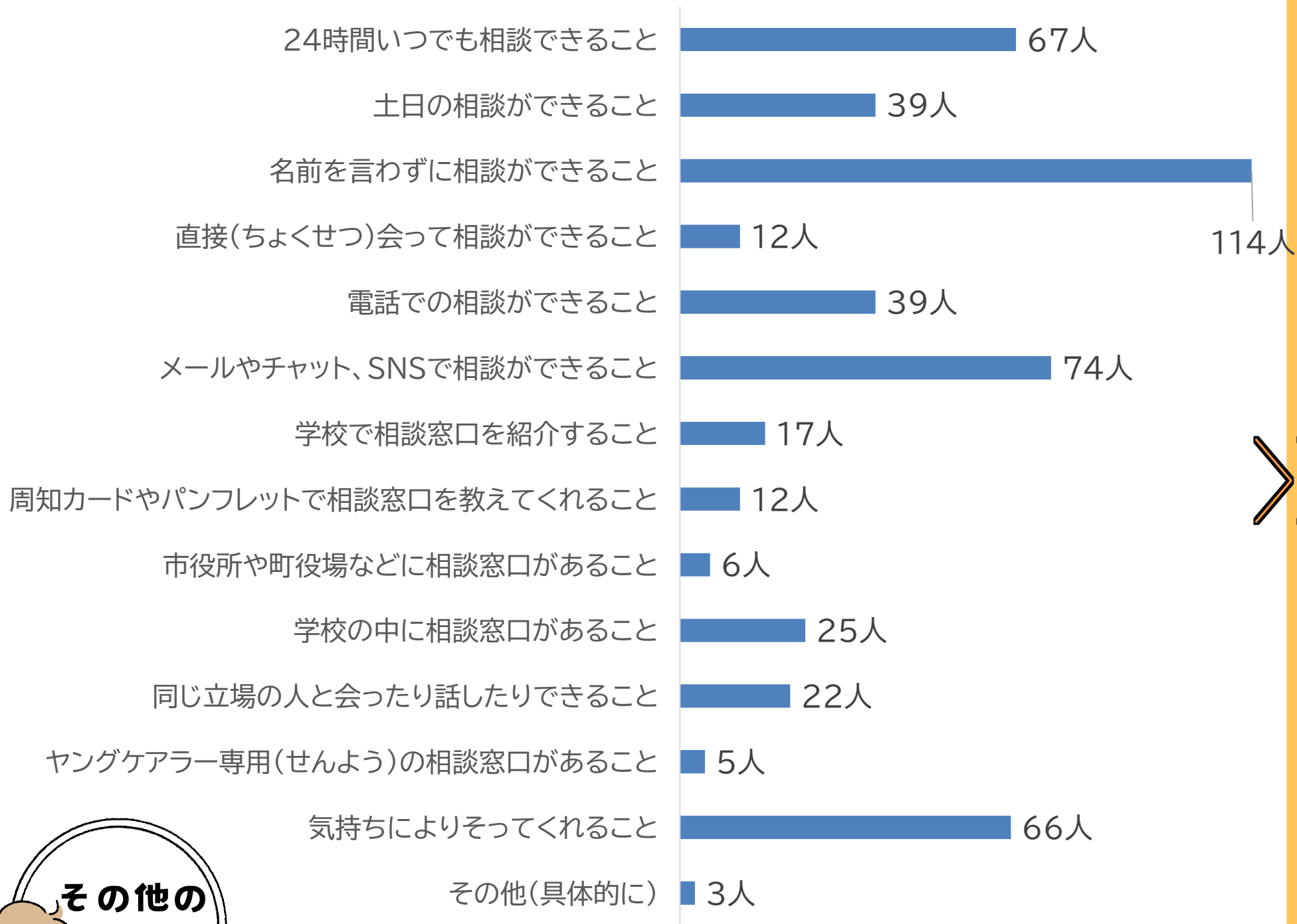
一方で、「いない」と回答した人も37人います。知らない大人にいきなり相談することは難しいと思います。

学校の先生や近所の人、習い事の先生など、身近に大人はたくさんいて、子どもたちを見守ってくれている人もいます。

まずは、日ごろからの関係づくりが大切だと考えます。



5. 悩みや困りごとがあったとき、相談しやすいと思う条件について教えてください。



その他の意見

- ・本当に困ったときに「ただいま電話が混み合っております」と言わないこと
- ・おじさんやおばさんじゃないこと
- ・学校以外の場所で、中学生が行っても別におかしくない場所で、相談窓口があったり、相談するために使える端末があったら、相談する気になるかもしれない

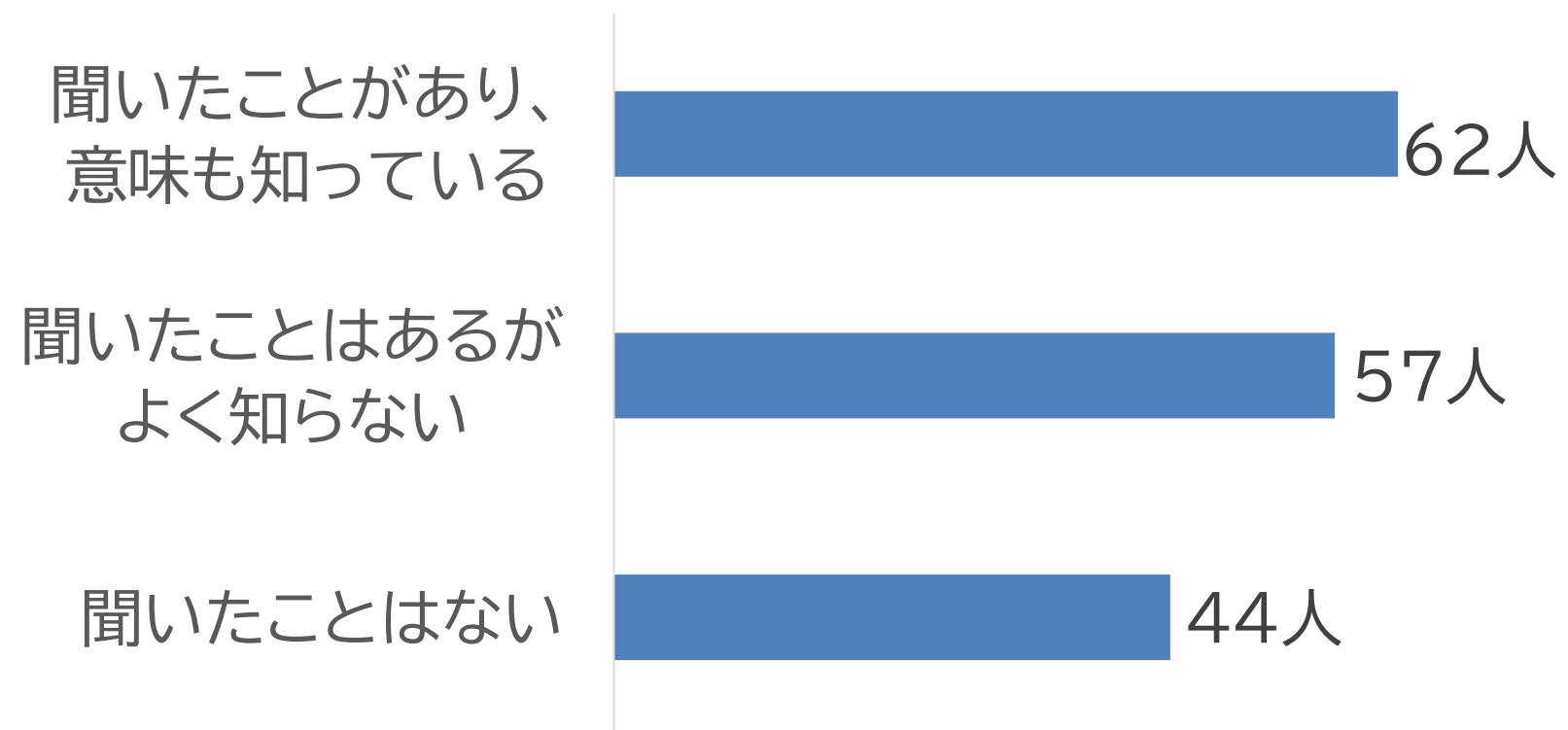
担当課より

「名前を言わずに相談できること」
「メールやチャット、SNSで相談相談できること」
「24時間いつでも相談できること」
「気持ちによりそってくれること」
という回答が多く、

匿名で都合のよいタイミングで相談ができること、
また、気持ちに寄り添う対応が
大切であることが分かります。



6. 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか？

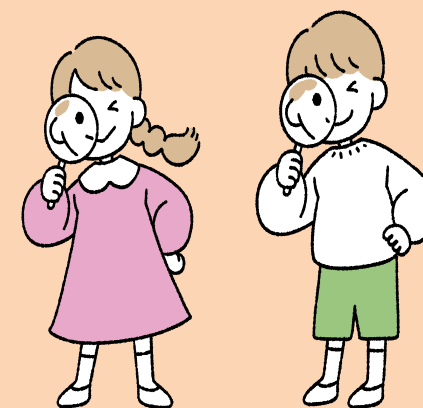


担当課より

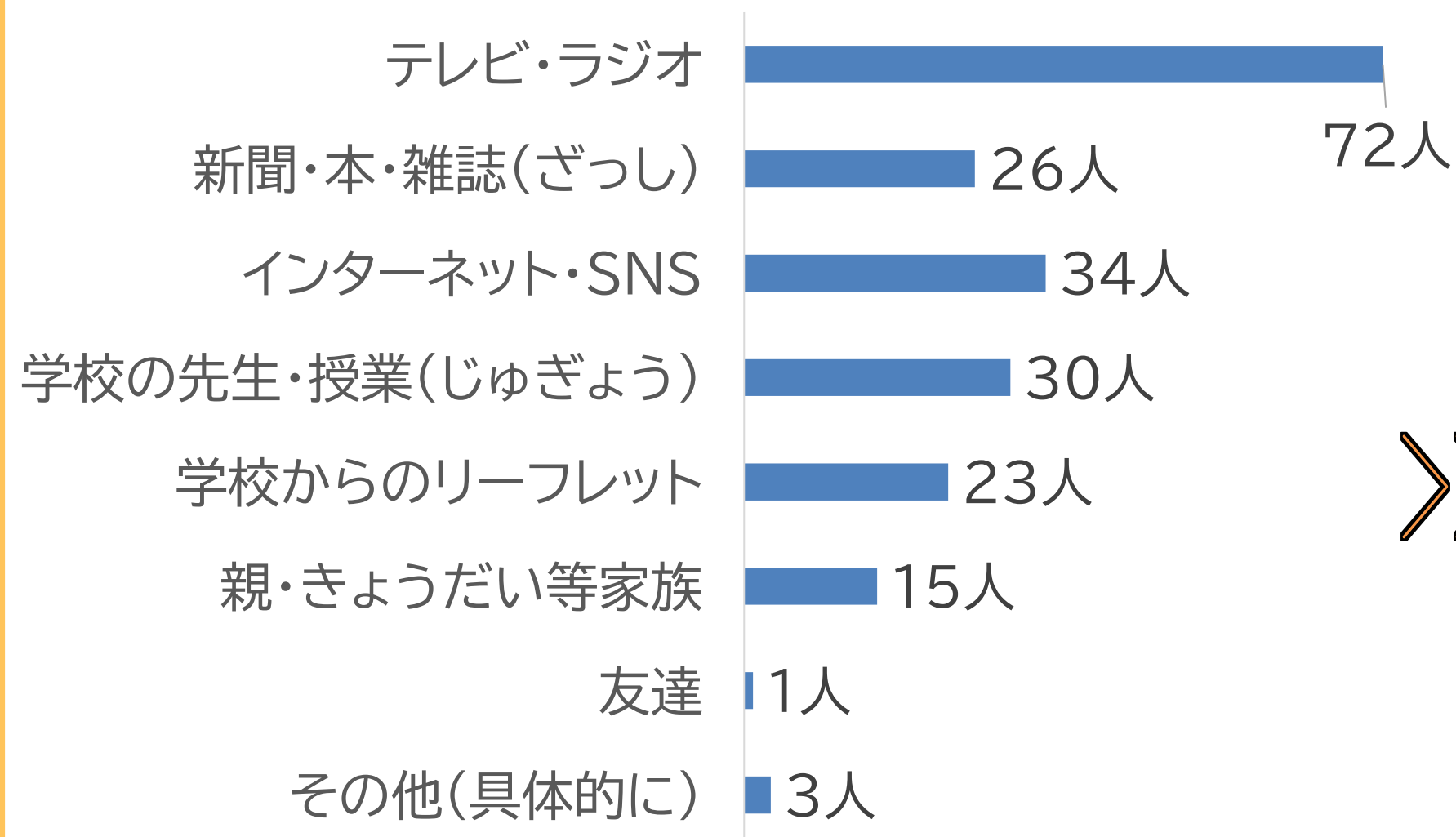
「ヤングケアラー」という言葉については、聞いたことがあるという人が多いことが分かります。

意味も知っている、という人は62人いますが、「聞いたことはあるがよく知らない」、「聞いたことはない」という人も多くいます。

ヤングケアラー支援の体制整備を進めるには、ヤングケアラーという言葉はもちろん、その意味や理解も深めていく必要があると考え、取り組みを進めていきます。



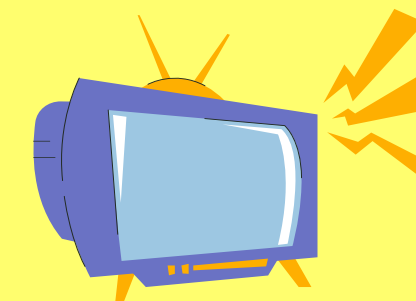
7. 「ヤングケアラー」のことをどこで学んだり、聞いたりしましたか？



その他の意見

・ポスター(学校に掲示されたポスター、学校のポスター)

担当課より

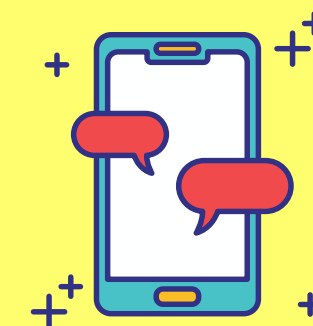


「テレビ・ラジオ」からヤングケアラーのことを学んだり、聞いたりしたことが多いということが分かります。

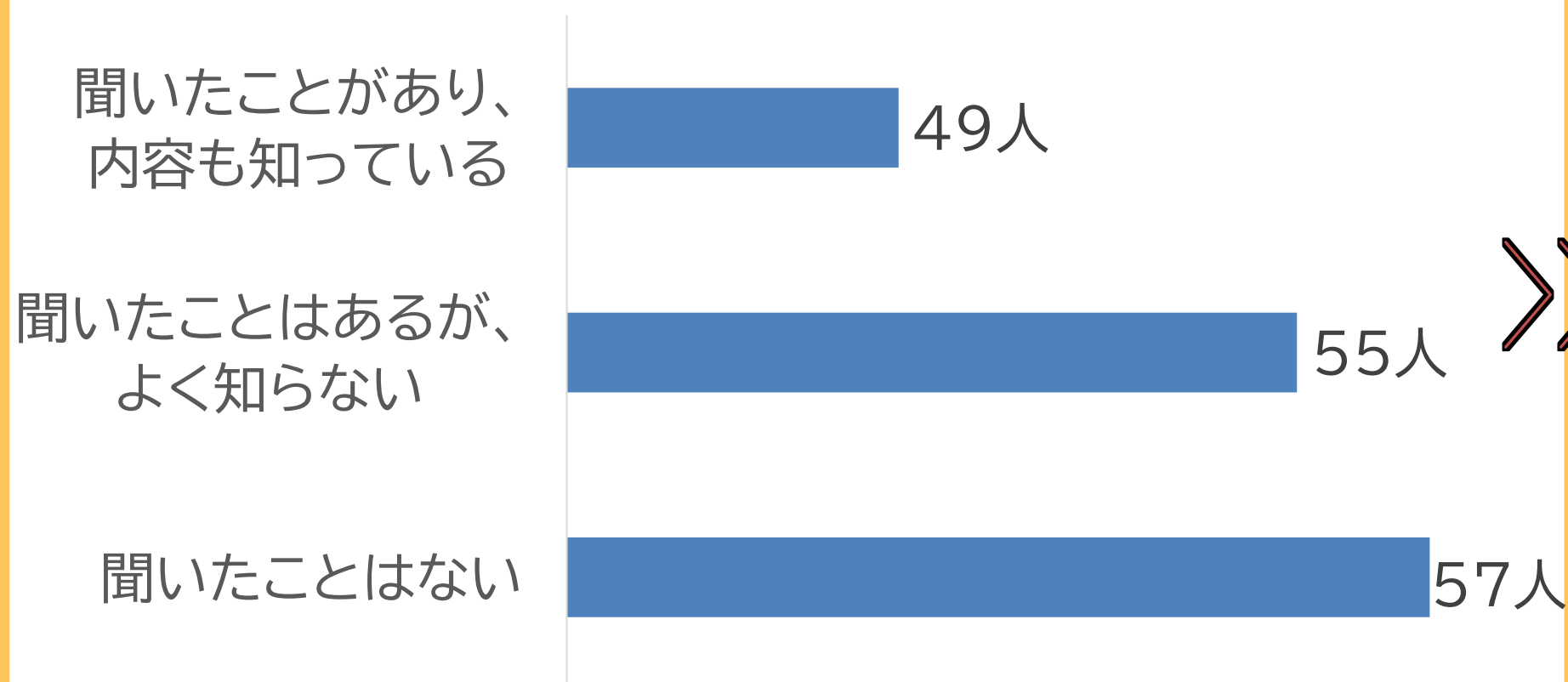
そのほかにも、「インターネット・SNS」「新聞・本・雑誌」が多く、

また、「学校の先生・授業」「学校からのリーフレット」など学校を通じて知る機会も多くあることが分かりました。

これからも、みなさんに伝わりやすい方法を検討していきます。



8. 「ヤングケアラー」は「教育を受ける権利」などの「子どもの権利」が守られていない可能性があることを聞いたことがありますか？



担当課より

ヤングケアラーが、子どもの権利が守られていない可能性があることについては、「聞いたことはない」という回答が一番多く、57人でした。

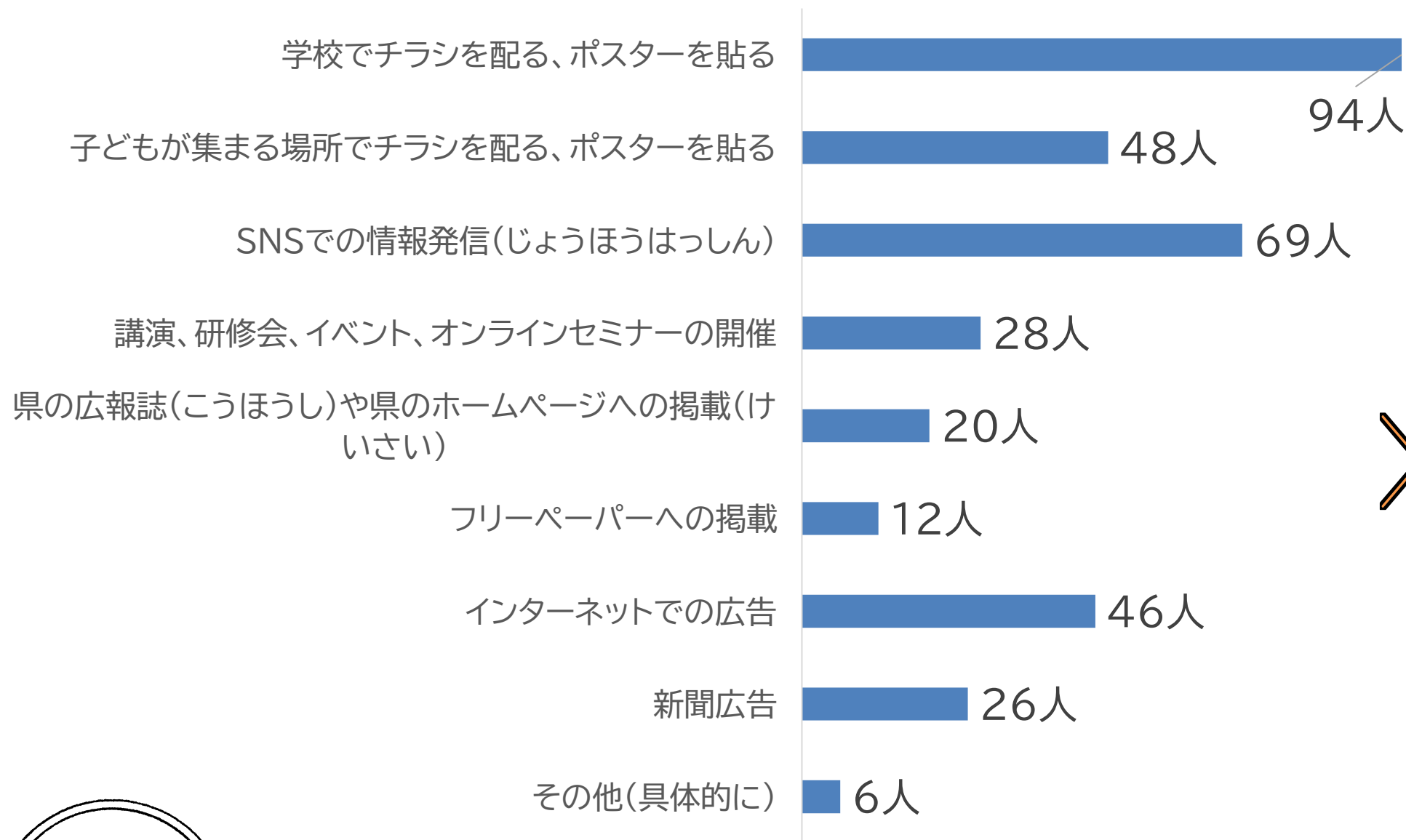
「内容も知っている」という人は49人ですが、「聞いたことがある」という人は多くいます。

家族のお世話で負担が多くなり、「教育を受ける権利」「健康に生きる権利」「子どもらしく過ごせる権利」などが守られない状況がみられることがあります。

子どもが子どもらしく過ごすために、守られる権利があることを、正しく広く知ってもらうことも大切だと考えます。



9. ヤングケアラーのことを知ってもらうため、効果があると思うことは何ですか？



その他の意見

・絵本を作る ・学校で先生が伝える。授業をする
・ヤングケアラーをしている子は、周りに知られたくないと思ってます。あぶりだすようなことはしないほうが傷つけないと思います。何とかしてあげたいのなら、その子の環境を変えてあげてほしいです。

担当課より

状況や思いは、一人ひとり異なります。

その子や家族の気持ちも大切にしながら、関わる必要があります。

周囲の人たちがヤングケアラーへの理解を深め、社会全体で支えていくことができるよう、取り組みを進めたいと思います。



**みなさんの回答は、
家庭福祉・施設整備課が受け取りました。**

今回のアンケートでいただいた意見は、

- ヤングケアラーについての啓発
 - ヤングケアラーに気づくためのポイントの周知
 - ヤングケアラーが相談しやすい相談窓口
 - 相談しやすい体制を整えるための検討資料
- に活用していきます！**



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！

